

様式第2号（第9条関係）



令和4年12月28日

尾花沢市議会議長 殿

会派名 令和クラブ
代表者（無会派議員）名 菅野 修一



調査研究報告書

次のとおり政務活動事業を実施しましたので報告します。

事業名	政務活動 研修会
期 日	令和4年12月15日（金）～ 令和4年12月16日（金）
主な利用 交通機関	J R 新幹線、貸切タクシー
実施場所	① 12/15 参議院議員会館研修室 ③ 12/16 岡山県西粟倉村役場
調査研究 内 容	別紙、報告書参照
参加者	菅野修一、大類好彦、星川 薫、菅野喜昭、安井一義

※添付書類：所感等を任意様式にまとめ添付する

令和クラブ政務調査報告書

令和4年12月15日～17日

令和クラブ

代表 菅野 修一
大類 好彦
星川 薫
菅野 喜昭
安井 一義

日時 令和4年12月15日 10時00分～12時00分

場所 参議院議員会館

内容 デジタル田園都市国家構想の実現に向けて

デジタル田園都市国家構想について

デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 参事官補佐 右田良介

増田レポートで2040年、全国1799のうち896の地域は、消滅する恐れがあるとの試算がある。コロナの拡大でテレワークが進み、地方が抱えている課題をデジタルの力を活用することによって解決することが出来る。全国各地にデジタルを活用した事例がある。地方にこそデジタルのニーズがある。地方の不便・不利・不安を解消できる。

デジタル田園都市国家構想推進交付金の概要

デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 参事官補佐 中 紘一

デジタル田園都市国家構想推進交付金令和3年度補正予算額200億円。具体的には、デジタル実践タイプ・地方創生タイプの2つが有る。具体的例としてマイナンバーカードを活用し、書かない窓口の実施し25.4億円の補助金。防災情報・暮らしの便利情報の提供により21.1億円の補助金を採択。補助金の積極的活用・申請書類の提出を求める。

デジタル田園都市国家構想推進交付金について デジタル実装タイプ

デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 参事官補佐 小野康佑

デジタル田園都市国家構想推進交付金の概要でも紹介したように、交付金のタイプは、デジタル実践タイプ・地方創生タイプの2つが有る。各400億円の予算が有りタイプ1～タイプ3までである。優良モデル導入支援型・データ連携基盤活用型・マイナンバーカード高度利用型で申請内容の難度が上がる。是非、尾花沢市においても活用して頂きたい。



日時 令和4年12月15日 14時00分～14時50分

場所 衆議院第一議員会館 鈴木徳和 事務所

内容 要望書の提出 米政策の推進状況について

要望書については市長と同じ旨を説明した。要望書7「特定鉾害復旧事業に係る財政支援について」は、補正予算で補填したとのこと。

続いて、米政策の推進状況についての話を伺った。

現在、話題になっている水田活用直接支払交付金の交付対象水田において、5年間に一度も水針、すなわち水稻の作付けが行われない農地に補助金を交付対象としない、について畑地化促進事業でスイカなどは10アール当たり17.5万円+2万円の5年間などの支援策があり、いずれ転作奨励金は見直し縮小に成っていくことが見込まれている中、この支援を使って体力を付け、次のステップに進む準備をした方がよさそうである。



日時 令和4年12月16日 10時00分～12時00分

場所 岡山県西粟倉村

内容 地域おこし協力隊(企業型)について

地方創生推進室 萩森 惇実

現在42人の地域おこし協力隊がおり、毎月のように出入りが有りそれが当たり前になっている。スキルのある人が集まってきており、村の中で起業する人、他の市町村で起業する人もいるが気にしない。家族ずれの協力隊もおり、保育園に入れられない事態も起きている。今まで110人ぐらいの協力隊がいたが、終了協力隊は67人、内、村内在住は32人。田舎暮らしをゆったりしたい人は出ていく。仕事・企業したい人が集まる。この村に来たらみんな一生懸命働く、ゆったり住みたい人は合わないそう。人口1400人の小さい村なのに賑やかなまちだ。私たちが役場についたとき研修を終えて帰る団体、同じ時間に研修して

いる人、研修中に他の団体も入ってくる。研修が有料なのも分かる。その後、近くの道の駅レストハウスあわくらんどにてジビエカレーなど、昼食会場として立ち寄った。他の研修者も立ち寄っていて活性化につながっている。毎日、数団体の研修を受けているようだ。



日時 令和4年12月16日 15時00分～16時00分

場所 大果大阪青果株式会社

内容 尾花沢スイカのさらなる販路拡大

企業版ふるさと納税のお願い

要望書の提出

大果大阪青果株式会社の副社長堀之内氏と部長の友金氏・課長の生島氏の3人から親切に対応していただいた。副社長のお話では、尾花沢とは半世紀以上のお付き合い三浦組合長からも大変お世話になっている。尾花沢スイカは一番だと思っている。味・シャリと日本トップレベルだ。コロナ禍のなか、安心安全・品質・安定量が一番。運賃・段ボールなどの高騰で助成金のお願いがあった。

尾花沢スイカのさらなる販路拡大のお願いと、企業版ふるさと納税が大変有利であることを説明し、16階の営業棟ビルをあとにした。



日時 令和4年12月17日 11時～13時
場所 株式会社 福寿館 大阪なんば店 高島屋大阪店9階
内容 株式会社 福寿館 代表取締役社長 西田康信 氏
1.尾花沢牛のさらなるお引き立て拡大
2.企業版ふるさと納税のお願い

2つの要望書を手渡し、お願いをするため訪問した。

社長は多忙のため、支店長の西風修司氏に尾花沢牛は東北有数の和牛産地で、さらなるお引き立て拡大のお願いと、企業版ふるさと納税の概要、企業にとって大変有益制度であることを説明した。

その後、尾花沢牛とつや姫の食事をしながら尾花沢市の観光の話など幅広く、銀山温泉・スイカ・雪・花笠まつりの話など広範囲に情報交換を行った。



ハードスケジュールな3日間ではあったが、有意義な研修となった。私たち令和クラブも市勢繁栄のため多くの事を学び、また情報発信に努める次第です。是非、当局も中央要望、企業版ふるさと納税の要望、地域おこし協力隊の活用を積極的に行っていただきたい。

様式第2号（第9条関係）



令和5年2月20日

尾花沢市議会議長 殿

会派名 令和クラブ
代表者（無会派議員）名 菅野 修一



調査研究報告書

次のとおり政務活動事業を実施しましたので報告します。

事業名	政務活動 研修会
期 日	令和5年2月15日（水）～ 令和5年2月16日（木）
主な利用 交通機関	J R 新幹線、
実施場所	2、東京交通会館8F ふるさと回帰支援センター（2月16日）
調査研究 内 容 成 果	※別紙参照
参加者	菅野修一、大類好彦、星川 薫、菅野喜昭、安井一義

※添付書類：所感等を任意様式にまとめ添付する

令和クラブ政務調査報告書

令和5年2月16日

令和クラブ
代表 菅野 修一
大類 好彦
星川 薫
菅野 喜昭
安井 一義

日時 令和5年2月16日 10時00分～11時30分

場所 東京交通会館8F ふるさと回帰支援センター

内容 デジタル田園都市国家構想の実現に向けて

移住者の動向とふるさと回帰センターの役割について

事務局長__江森 孝至氏 相談部門指導員__二荒 雅彦氏

移住コンシェルジュ__多田 曜子氏 移住コンシェルジュ__斎藤 好子氏

事務局長江森氏より移住者動向の説明を受けたのち、本県出身の移住コンシェルジュ多田・斎藤氏と意見交換会を行った。常に情報交換し本市の魅力を伝えることが大事なことから、定住応援課にも伝え、本市の定住対策に寄与する。

